



新しい
まちづくりの
ために

豊岡だるま駅と
高崎だるま
ミュージアム(仮称)
の整備

TOYOOKA
DAKUMA
STATION

豊岡だるま駅

住宅団地や工業団地などが集積し、通勤・通学者の多い豊岡地区にJR信越本線の新駅設置を進めています。新駅の駅前広場には、一般車両と公共交通の混雑を防ぐためツインロータリー方式を採用。さらに、自家用車から鉄道へスムーズに乗り換えることができるパークアンドライド駐車場を整備し、自動車から公共交通へのシフトを促進します。

駅名は市民アンケートを実施し、JR東日本に要望。結果、アンケートで1位となった「豊岡だるま駅」に正式決定。令和9年3月の開業を目指し、工事を進めています。

高崎だるま ミュージアム(仮称)

日本一の生産量を誇る高崎だるま®の伝統を守り、歴史や文化を国内外に発信するため「高崎だるまミュージアム(仮称)」の建設検討を進めています。

同施設は、さまざまなだるまの展示を行う他、ミュージアムショップやカフェを併設。さらに、来場者による絵付け体験ができる体験工房や、多様な世代が集う創造の場として活用するための多目的室などを備え、多くの人に高崎だるま®の魅力を感じてもらえる施設を目指しています。

また、古くからだるまの生産業者が数多く集まる豊岡地区に建設を予定しており、JR「豊岡だるま駅」の隣接地に設置することで、周辺地域の更なる活性化が期待されます。

DAKUMA
MUSEUM



鳥川かわまちづくり 整備事業と 榛名のフルーツ

KAKASU RIVER
KAWAMACHI

鳥川かわまちづくり 整備事業

中心市街地を流れる鳥川は、榛名山や高崎白衣大観音が一望でき、高崎駅からも近いことから、多くの市民に親しまれています。この自然豊かな鳥川左岸エリアに、高崎の食の魅力を発信する拠点を整備します。

地元産果物を使ったスイーツが味わえるフルーツパーラーや、地元食材を使った料理を提供するレストランなどを備えた3階建てのレストハウスを整備。周辺ではキッチンカーが参加する屋外イベントの開催や、高崎パスタが楽しめるオープンカフェ、バーベキューなどができるスペースを確保します。年間を通じて高崎の食を楽しむことができる拠点を整備することで、地域資源を生かしたにぎわいの創出や、まちなかとの回遊性の向上につなげます。

TAKASAKI
FRUIT



高崎のフルーツ

北関東屈指の果樹産地である高崎市。特に榛名地域では、東日本一の生産量を誇る梅や、20を超える品種が栽培されている梨、プラム、モモなどの生産が盛んです。直売所が立ち並ぶ国道406号沿線は「くだもの街道」と呼ばれ、旬の果物を求める多くの人でにぎわいます。他にも市内では、サクランボやブドウ、イチゴなど多彩な果物が生産され、果物狩りができるスポットもあります。

